



「鳩山町正月マラソン大会」300人を超える参加者が「走り初め」



▼3kmの部(62人参加) ▼1kmの部(181人参加)



新春恒例の鳩山町正月マラソン大会が1月3日、農村公園をスタート・ゴールとするコースで行われ、快晴の青空のもと、延べ308人の参加者が、新春の鳩山を駆け抜けました。

第45回鳩山町正月マラソン大会結果 (敬称略)

1kmの部	第1位	第2位	第3位
小学生以下の部(第1組)	西幅 万里乃 3分50秒	乙幅 礼子 3分54秒	戸口 歩希 3分56秒
小学生以下の部(第2組)	北澤 快音 3分51秒	矢崎 賢介 3分58秒	山本 駿 4分10秒
一般の部(第1組)	池田 直樹 2分57秒	富澤 稔 3分51秒	和崎 克之 4分12秒
一般の部(第2組)	加藤 穂高 3分19秒	坂元 響 3分19秒	加藤 大地 3分32秒
3kmの部	第1位	第2位	第3位
小学生以下の部	福岡 知典 13分50秒	渡辺 虎太郎 14分21秒	小峰 翔真 14分32秒
一般の部	蓮見 明久 9分56秒	山崎 颯 10分00秒	亀井 純弥 10分33秒
5kmの部	第1位	第2位	第3位
小学生以下の部	西田 悠真 21分00秒	中野 蒼太 22分17秒	高橋 洸司 23分47秒
一般の部	柳原 真人 15分57秒	太田 裕之 16分05秒	馬橋 陽太 16分20秒

各小学校児童が「難聴」について学ぶ

12月から1月にかけ、町内3つの小学校で、難聴を理解する授業が開催され、児童たちが耳や音のしくみや聞こえにくさについて学びました。

この授業は、障がいに関する体験を取り入れた学習を通して、障がいを身近に感じ理解してもらおうとともに、子どもたちの福祉の心を育もうと、役場長寿福祉課が実施する「子どもと障がい者のふれあい事業」として行われたものです。今年度は聴覚障がいを学び、難聴を疑似体験してもらおうと、県立特別支援学校 坂戸ろう学園の清野 菜穂子教諭と後藤 克彦教諭を講師に招きました。

授業では、耳の働きや音の高さ・大きさの単位などを学んだ後、難聴者には音がどのように聞こえているのかを疑似体験。特定の音をカットした音楽や言葉を聞いたり、イヤードیفENDERと呼ばれる音を遮る器具を装着して声を聞いたりしました。難聴者と話すときはどうしたらよいかの問いに、子どもたちは「手話を使う」「文字を書く」「いっぺんにしゃべらない」「表情をつけて話す」などと答えていました。



▲イヤードیفENDERを装着し、声の間こえにくさを体験する児童たち。(1月16日、鳩山小学校にて)
 ▲難聴者の聞こえ方をもとに、どのようにコミュニケーションを取ったらいいかを考えました。

「お手紙風船」関東各地からお返事

11月17日、町立鳩山幼稚園で開催された「第12回鳩山町子育てフェスティバル」で空に飛ばした「お手紙風船」に、今回も多くの方々からお返事が届きました。東京都・千葉県・神奈川県など、関東各地からは延べ22通のお返事が届きました。

12月18日には、朝日新聞社の関係者が、東京都内の本社にお手紙風船が届いたことから、サンタクロースと、なんと空撮用ヘリコプターまで連れてお返事を直接持ってきてくれました。町立鳩山幼稚園とひばり保育園の園児たちは、「あっ、きたきた」などと喜びながら、ヘリコプターに手を振っていました。

お返事をいただいた皆さん、ありがとうございました。



「お手紙風船」のお返事を持ってサンタクロースが来てくれました



▲たくさんのお返事を手にするイベント主催者の子育て支援ネットワーク「くるっくー」の丞村会長



▲空撮用ヘリコプター



▲ヘリコプターに手を振る園児たち

「乳幼児とのふれあい体験授業」で鳩山中学校が「埼玉・教育ふれあい賞」を初受賞

鳩山中学校が、日々の教育活動に積極的に取り組み、著しい成果を上げている学校・団体として「平成30年度埼玉・教育ふれあい賞」を初めて受賞しました。

この賞は、「彩の国教育の日」の一環として埼玉県が実施しているもので、平成18年度から鳩山幼稚園、鳩山町社会教育委員、地元の親子などと連携協力して実施している「乳幼児とのふれあい体験授業」が受賞対象となりました。この授業では、3年生が、赤ちゃんの抱っこ体験や保護者との会話を通じて、命の大切さや、親に感謝する気持ちを学んでいます。



▲受賞の対象となった「乳幼児とのふれあい体験授業」



表彰状を手にする橋本敏雄校長(写真右)と活動の展示用パネルを手にする濱田彰博教頭

関連情報

鳩山中学校が他機関と連携して取り組んでいる主な「進路・キャリア教育」

職業体験 「3 days チャレンジ」

1年生が毎年、町内外にある事業所等で、仕事の一部を体験しています。仕事体験や働く人々と接することを通じて、職業や仕事の実態を学び、社会性を育てています。

大学訪問

2年生が毎年、町内にある東京電機大学を訪問しています。講義やワークショップ体験、専門分野の学びを通して、大学の基本的なことや意義を学んでいます。

高校教諭による 出前授業

3年生に対し、今年度は県内5つの高校の先生が出前授業を行いました。生徒たちは各自選択した授業を受講し、進路選択への関心意欲を高めています。